

NO. 67(令和5年2月27日発行)



社会福祉法人
愛の鈴
AINO-SUZU

愛の鈴通信



研修旅行にて遠く富士山を望んで。
(山梨県立まきば公園にて)

目次

- ・ 理事長のことば
- ・ 町田おかしの家 便り
- ・ ケアホーム愛の鈴 便り
- ・ 法人本部報告
- ・ 町田おかしの家 商品ラインナップ
- ・ アクセスマップ
- ・ 職員募集 編集後記

編集・制作：社会福祉法人 愛の鈴

理事長のことば

社会福祉法人愛の鈴
理事長 植草三樹男

今は売上目標の数字を追うことより大事なことをみつけました。それは、神様が喜んでくださる人になることを目指しています。なぜなら、クリスチャンになってから自分が罪人だと知りました。そして、そんな罪人でも神様は自分を愛してくれることを信じているからです。

僕は、50代の時に100億を売り上げると決めて、それに向かって10年頑張り、達成をしました。

それを達成したら、学生時代の同級生に自慢できるし、誰からも尊敬される人になれると思っていたのです。

そして、商品売るためにはどうしたらいいかを考えて、それを一つずつ実行したら、みるみるうちに達成しました。

自分では「え？こんなに簡単に達成しちゃうの？」と思ったんです。

聖書に「はじめに言葉があった」と書かれています。社員の人信じていても信じていなくても、とにかく「100億売る」といい続けて達成しました。

では、その大きな目標を達成した後、どうなったのか？実は、達成したのに満足ができなかったのです。自分の人生の目的が100億を売ることだと生きていました。

しかし、満足を得ることができなかった。

「クリスチャンになったら何か人生の目的をみつけられるかもしれない」と思い、洗礼を受けてクリスチャンになりました。そして今は売上の数字を追うことより大事なことをみつけたんです。

それは、「一緒に働いている人達が必ず成功する」と言葉に出してお祈りをしていますが、どうしても、マイナスなことを考えたり、相手を悪者にしたり、裁いてしまいます。

ついそんな風に思ってしまいますが、イエス様に近づいて諦めないでお祈りし続けています。

2023年2月9日

町田おかしの家 便り

研修旅行・八ヶ岳（10月）



八ヶ岳近辺に一泊旅行に出かけました。初日は山梨県の石和でボリュームのある野菜ほうとうを食べ、山梨県立科学館で展示や科学ショーを楽しみました。夜は長野県川上村のせせらぎの里（町田市自然休暇村）に宿泊し、大自然の中で満天の星を眺めることができました。翌日は山梨県立まきば公園で高原の澄んだ空気に八ヶ岳・富士山などの山々がくっきりと映える中ウォーキングしました。コロナ後、久しぶりの旅行という方も多く、開放感の中で大いにリフレッシュすることができました。

クリスマス会（12月）

新年会・20歳を祝う会（1月）



クリスマス会では株式会社曙忠生工場様のご厚意で豪華なクリスマスケーキを提供いただきました。愛の鈴後援会に準備やビンゴ大会の運営でお手伝いいただき、ご家族の方からも差し入れを頂戴しました。新年会ではお寿司で会食をしてミニゲーム大会で盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。20歳を祝う会では今年度に20歳を迎えたご利用者に特製Tシャツをプレゼントしてお祝いしました。

作業風景から



ひなおかきなど季節商品に取り組んでいます。



新しい作業担当に挑戦し、悪戦苦闘しながら頑張っています。（※ご使用済のPC等があればご提供ください。）

誕生日



素敵な花束のプレゼントで誕生日を祝いました。

ケアホーム愛の鈴

日中支援・レクリエーション活動



「相模原ふれあい科学館」に遊びに行きました。



今年も恒例の施設長による焼き芋・焼き栗大会を開催しました。

クレープ・パンケーキ作り



皆で作った生地にデコレーションをしました。皆さん楽しそうに作っていました。

誕生日会



10月にS・いさん、12月にR・Yさん、1月にM・Oさんのお誕生日会を開催しました。皆様、おめでとうございます。

新年会



皆揃って新年をお祝いできました。新年会のメニューはロコモコ丼でした。



法人本部報告

「理事会 報告」

令和4年度 第3回（令和5年2月20日 午後開催）

- 議案
- ・令和4年度 第2次補正予算
 - ・令和5年度 事業計画
 - ・令和5年度 当初予算
 - ・就業規則の一部改正
 - ・給与規程別表の一部改正
 - ・ケアホーム愛の鈴サービス管理責任者の任命
 - ・評議員会招集

報告事項

- ・法人本部及び町田おかしの家並びにケアホーム愛の鈴
(運営状況報告 他)

「ご寄付受入状況報告」

(前回号から令和5年1月31日現在)

ご寄付・ご献品は、法人及び事業所利用者のためにありがたく使用させていただきます。
(敬称略 50音順)

<法人全体へのご寄付（法人運営資金として）>

- ・浅見源司郎
- ・伊藤美保子
- ・猪野塚睦子
- ・植草三樹男
- ・宇佐美より子
- ・衛藤憲一
- ・加藤武仁
- ・久保田民子
- ・齋藤謹也
- ・齋藤美智子
- ・阪千香子
- ・須賀みど里
- ・柰津都子
- ・松岡浩子
- ・森高登志夫
- ・横溝肖実
- ・宗教法人大和キリスト教会大和カルバリーチャペル 牧師 大川従道
- ・宗教法人カトリック横浜司教区カトリック小田原教会

<町田おかしの家へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・渋江孝雄
- ・丹後美穂
- ・富士フィルムビジネスイノベーション株式会社
サステナビリティ推進部 端数倶楽部
- ・愛の鈴後援会

<ケアホーム愛の鈴へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・井上美芽
- ・猪野塚幸子

<町田おかしの家・ケアホーム愛の鈴へのご献品（米・野菜類）>

- ・南町田教会

皆様の当法人及び事業所への温かな見守りのご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

*当法人では、引き続き、皆様からのご寄付を募っております。

下記銀行口座へお振込みをいただくと幸いです。

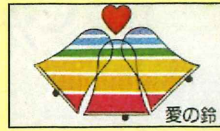
どうぞよろしくお願い申し上げます。

お振込先：みずほ銀行町田支店（普）1064633

社会福祉法人愛の鈴 理事 植草三樹男

町田おかしの家

～ 自主商品ラインナップ ～



各種1袋
120円

国産もち米使用の人気おかき! < 和シリーズ >



しょうゆ

アーモンド

しお

こつぶ

あまから

{ 下記箱詰め (15袋箱入り・18袋箱入り) と、おかき5種袋詰め承ります。 }

プチあんじゅ・こいそ豆からもお選び頂けます



15袋箱入り 2000円

18袋箱入り 2360円



5種袋詰め
700円

一口サイズの
あんドーナツ



味わい豊かな豆菓子



1袋各120円

日高産天然物



日高昆布 800円

こだわりの逸品

有明産



やきのり 400円



こちらのQRコードから、
町田おかしの家ホームページの
商品紹介にアクセスできます。

①



②



③



～香りと彩りの静岡県産お茶～

① 粉末緑茶 700円

② 煎茶 850円

③ 上煎茶 1000円

※①～③の中から2袋入り・3袋入りの
箱詰めも承ります。

アクセスマップ



就労継続支援B型 町田おかしの家

〒194-0035

東京都町田市忠生2-7-9

電話042-792-9773 FAX042-792-9767

E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 小山田桜台行
町田工業高校前 バス停下車 徒歩10分



共同生活援助 ケアホーム愛の鈴

〒194-0038

東京都町田市根岸2-28-14

電話042-794-4120・4121 FAX042-794-4122

E-mail care.home@aino-suzu.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 野津田車庫前行
・小山田行・橋本駅北口行等 下根岸 バス停下車 徒歩5分



愛の鈴通信を読んだ感想等をお聞かせください。

※ご感想等ございましたら以下にご記入の上、法人ウェブサイトもしくはFAX・お手紙等でお送りください。今後の参考とさせていただきます。



<送付先>

住所：〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

FAX: 042-792-9767 (町田おかしの家)

042-794-4122 (ケアホーム愛の鈴)

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/3/>

※左のQRコードからお問合せフォームにアクセスできます

ケアホーム愛の鈴では生活支援員を募集しています。詳細は法人ウェブサイトの職員募集ページをご覧ください。

<http://aino-suzu.jp/publics/index/11/>



人 事

- ・令和4年12月16日採用 町田おかしの家 小竹 良子 (非常勤)
- ・令和4年12月16日採用 町田おかしの家 小石川 桂子 (非常勤)

編 集 後 記

この愛の鈴通信ですが、今年度は誠に勝手ながら1回お休みをいただき、3回のみ発行とさせていただきます。法人・事業所のお知らせの機会が減ることとなりましたが、編集に時間をかけ取り組みや活動をわかりやすく伝えられるよう努めてまいりました。

広報発行を取り巻く環境は変わりつつあります。愛の鈴通信はご縁のあった方にお送りさせていただいていますが、発行部数が増加しつつあります。今後は記事内容・印刷や発送方法の見直しを検討し、一層の改善を目指しているところです。

さて、社会情勢の変化から法人と事業所利用者を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。世界に目を向けると、経済動向の不安定さが増している一方で、アメリカでは医療費の大幅な高騰が問題となり、中国でも医療手当削減に対する大規模なデモが起きています。

社会保障制度全般のこうした変化は日本でも無関係ではありません。例えば、現在の法的給付金制度では労働市場の急激な変化に対応できず、福祉事業所における人材確保がままならない状況など難しい課題は少なからずあります。

貧困の深刻化の影が深まりつつありますが、こうした状況でも社会福祉事業を継続し、利用者の生活を守るという法人の使命をかみしめつつ日々事業に取り組んでいるところです。

広報誌をお手に取る皆様もさまざまな状況があるとは思いますが、皆様とのご縁が利用者の生活と法人の事業の活力の源となっており、改めて感謝申し上げます。

法人として日頃より財政基盤の確保や経営の安定化には尽力していますが、それ以上に「人と人とのつながり」を大切にしたいと考えております。皆様のご理解を賜れば幸いです。(原子)